

史跡甲斐国分寺跡・甲斐国分尼寺跡保存活用計画（案）に対するパブリックコメントの募集結果について

1 意見募集期間

令和6年1月12日（金）から令和6年2月9日（金）

2 意見の件数

(1) 意見をいただいた人数 1人（うち郵送：1件）

(2) 意見の件数 9件

3 意見の反映状況

No.	反映区分	件数
1	計画に意見を反映させるもの	0
2	意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	4
3	今後の取組で参考にするもの	3
4	計画に意見を反映できないもの	2
5	その他（感想等）	0
合計		9

4 提出された意見と意見に対する考え方

No.	提出された意見	意見に対する考え方	結果
1	<p>国分寺整備にあたり以下の事項について検討をお願いします。</p> <p>笛吹市千年の都にふさわしい、規模の大きな美しい歴史公園であり、子供、大人も含めた自然や歴史文化の教育の場でもある。</p> <p>また、老若男女誰もが公園にて憩える場所であり県外県内問わず人の集まる公園でありたい。</p> <p>また地域の産業、観光に大いに貢献する施設でもありたい。</p>	<p>本計画（案）「第7章史跡の活用」の中の「1 教育における活用」「2 観光における活用」「3 まちづくりにおける活用」の内容に合致するものと考えます。</p>	<p>2 意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの</p>
2	<p>(1) 僧寺を中心とした、金川森林公園－国分寺僧寺－国分尼寺が有機的につながりを持つよう、一体化した公園整備を進めて欲しい。この為、国分寺を東西に横切る道路の移設取付替えを行い、南北に分かれる国分寺僧寺の一本化を図る。</p>	<p>本計画（案）「第8章史跡の整備」の中の「(2)活用のための整備」において、「現況アクセス道路を活用した周辺文化・観光資源の周遊ルートを検討する。」としており、道路の移設取付替えは考えておりません。金川森林公園－国分寺僧寺－国分尼寺の有機的なつながりをもつ公園整備については、今後の検討の参考といたします。</p>	<p>4 計画に意見を反映できないもの</p>
3	<p>(2) 国分寺僧寺の整備</p> <p>遺構を最大限に活かした歴史公園とする、但し誰もが安心して安らぐ芝生広場、花壇、四季折々の周りを囲む樹木等遺構を損なわないように配慮する。</p>	<p>本計画（案）「第8章史跡の整備」の中の「(2)活用のための整備」において、「史跡の本質的価値を分かりやすく伝えるため、地下遺構の復元表示を主とした整備を検討する。」また、「(1)保存（管理）のための整備」において、「植生が建物遺構・地下遺構に影響を及ぼしている、あるいは及ぼすおそれがあると判断される場合は、伐採も視野に入れた措置により、遺構の保存を最優先する。」の内容に合致するものと考えます。</p>	<p>2 意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの</p>

No.	提出された意見	意見に対する考え方	結果
4	(3) 回廊の一部分、中門等は新規に建設する。石畳、版築の一部再生	本計画（案）「第8章史跡の整備」の中の「(2)活用のための整備」において、「史跡の本質的価値を分かりやすく伝えるため、地下遺構の復元表示を主とした整備を検討する。」としております。回廊の一部分、中門等の新規建築は考えておりません。また、「史跡の最大の特徴である「石の国分寺」を体感できる石敷や石組み基壇といった遺構の復元表示について、顕在化する方法を検討する。」としております。	4 計画に意見を反映できないもの
5	(4) 回廊、金堂、講堂、食堂、露盤、7重の塔の大きな説明、図案看板設置	本計画（案）「第7章史跡の活用」の中の「1教育における活用」において、「史跡の本質的価値を正しく伝えるため、来訪者にとって分かりやすい解説板・案内板の設置を行う。」としております。解説板・案内板については、令和6年度、7年度に策定する整備基本計画の中で具体的に検討します。	2 意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの
6	(5) 国分尼寺も同様に整備する。	甲斐国分尼寺跡については、長期計画の中で整備基本計画の策定を予定しています。今後の検討の参考といたします。	3 今後の取組で参考にするもの
7	歴史博物館の整備 (1) 国分寺北側広場を整備する。この広場は歴史博物館、イベント広場、市民、来訪者憩いの場とする。 (2) 歴史博物館の内容 出来るだけ映像等駆使したものにし、国分寺全体の立体模型、7重の塔の詳細な（構造、耐震、仏教的意味の説明）。天平時代からの歴史、この地に建てられた意味（聖地、方位、災害）、国分寺に関する各種資料、当時の笛吹市の状況	本計画（案）「第8章史跡の整備」の中の「(2)活用のための整備」において、「公開・活用の拠点としてガイダンス施設の必要性について検討を行う。」としております。今後の検討の参考といたします。	3 今後の取組で参考にするもの
8	* 早急に設計、予算案を作成。予算の予定は国、県、市の補助金と合わせてクラウドファンディング、寄付金、ふるさと納税を利用した資金の確保を目指す	甲斐国分寺跡については、令和6年度、7年度で整備基本計画、令和8年度に基本設計、令和9年度から実施設計、令和10年度から整備工事を予定しています。今後の検討の参考といたします。	3 今後の取組で参考にするもの
9	* 行政と市民の協力により維持管理の効率化（ボランティア活動、会場の維持管理）	本計画（案）「第9章運営・体制の整備」の中の「2 地域との協力体制の整備」の内容に合致するものと考えます。	2 意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの